

2024年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2024年12月26日

事業所名：児童発達支援 運動遊びと療育支援 こどもプラス柏教室

対象人数（保護者）15人 回答者数 13人 回収 86.6%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	教室からのコメント	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					人数や活動に応じて安全に過ごせるように配慮しております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13					職員の配置は基準を上回っております。専門性を高めるために月一回程度運動遊びの研修を行っております。また、さらに知識向上のためにオンライン研修を導入し、受講しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					どこに何があるか分かるように棚やロッカーを配置しており、視覚的に分かりやすい構造にしております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					毎日、掃除と消毒を行っております。運動ができるように広い空間を確保しています。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				・留まる、指示を理解するなど、苦手なことを楽しい遊びのようなプログラムの中で教えていただけています。年長になり、運筆など進学に向けたプログラムも組んでいただき、有り難いです。	お子様に楽しい体験を積んでいただき、ここに来たいと思って通っていただけるような活動内容を提供できるよう、これからも色々な取り組みを行っていきたく考えております。	
	6 事業所がホームページで公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1			ホームページに掲載されている「柳澤運動プログラム」に基づき、活動内容を組み立て、提供させていただいております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13						普段のお子様の様子から好きなことや得意なことはもっと伸ばせるように、苦手なことや課題点は少しずつできるようになるように個別支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13						児童発達支援計画のガイドラインに基づき発達支援、家族支援、地域支援に当たる項目を取り入れ、お子様に必要な総合的な支援内容を設定するよう配慮しております。お子様が、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう支援内容を工夫させていただいております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13						児童発達支援計画に基づき、療育プログラムを考え行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				1	・次々に新しい活動や、季節に合わせたイベントをしてください、毎回楽しく参加できています。	「柳澤運動プログラム」に基づき、指導員が一人一人のお子様のレベルに合わせて、楽しく取り組めるようアレンジし、日々の運動プログラムの計画を立てております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7			1	5	・送迎の際に保育園での生活状況をみてくださり、保育園の先生とも情報共有していただき、有り難いです。	保育所や認定こども園、幼稚園、その他地域等との子供達と交流する機会をつくることにつきましてはあまり取り組めていないのが現状です。今後、交流の機会を増やしていきたいと思っております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13						ご契約させていただく際に説明させていただいております。ご質問やご不明な点等をいただいた時も、その都度ご説明させていただいております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13						家族のご希望やご要望、児童支援利用計画案、発達評価や発達検査の結果などを総合的に捉えた上で、児童発達支援計画を作成し、保護者様にご提示しながら支援内容の説明を行っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3			3		年に数回親子イベントを開催し、情報提供の場とさせていただきます。ご家族等も参加できる研修等の機会も増やしていきたいと考えております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13					・いつも送迎の際に子供の活動状況やその日の精神状態などお伝え頂いたり、ハグの中に写真やその日のエピソードを書いてくださり、とても嬉しく拝見しております。	送迎時や保護者様によるお迎え時にお話しさせていただいております。その上でお子様の状態や課題についても、ご家族様と一緒に考え共通理解に努めております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2				・もう少し面談やお話しする機会が欲しい ・まだ入ったばかりなので、来月面談をしていただく予定です。 ・進級のタイミングや、受給者証更新のタイミングで、色々とお話をさせて頂き、相談にのっていただいております。	ご心配なこと、ご不安なこと等ございましたら、ご連絡をいただければ、いつでも対応させていただきますので、お気軽にご連絡ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					・子供の特性に寄り添い、丁寧にみていただき有り難いです。息子も、先生方のことを信頼していて、お会いするととても嬉しそうにします。	今後もお子様や保護者様に寄り添った支援ができるよう尽力してまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	2		4	・きょうだいがいないのでわかりません。	年に数回親子イベントを開催し、懇親会を開催しております。ぜひ多くのご家庭に来ていただけたらと思います。ご希望を頂いた際には、きょうだいの支援にも入らせていただいております。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13						相談やお申し入れがございましたら、速やかに対応してまいります。また、契約の際にもご説明させていただいておりますが、当施設以外に千葉県社会福祉協議会に設置された「福祉サービス運営適正化委員会」でも受け付けていることを重要事項説明書にも明記しております。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				・ハグの中でのご連絡や、ショートメールでのご連絡いただき、有り難いです。	できる限りお子様の日々の出来事や情報を共有させていただきたいと思っております。今後も何か気になる点等がございましたらいつでもご連絡ください。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13						今後も日々の活動の様子等をお伝えし喜んでいただけるよう工夫していきたく思います。何かご要望等ございましたらお申し付けください。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				1		個人情報保護の重要性を全職員で共有し個人情報の適切な取り扱いと保護に努めております。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			1	施設として必要なマニュアルは整っております。避難経路等、緊急時に必要なものは事務室と指導訓練室に掲示し、常にご覧いただけるようにしております。また、マニュアルの記載内容も変更が必要な箇所はないか見直しも行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13				・避難訓練も丁寧に説明してくださっているので、怖がりすぎず、でも真剣に取り組んで、緊急時の行動をちゃんと意識していて驚いています。実際の時はパニックになる特性だと思うので、訓練できて有り難いです。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13				安全計画につきましては、保護者様にも共有させていただいております。また、お子様に事故やけがのないように設備等の安全点検を行うと共に、危険予測をし環境を整えるよう心掛けております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	事故やケガ等が起こった場合は、お子様の安全が確保され次第、すぐに保護者様へご連絡させていただいております。また、契約の際にもご説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				これからもご利用者様にとって安心・安全な教室にしていけるよう尽力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				これからも教室での活動に満足していただけるよう努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				<ul style="list-style-type: none"> ・9月より通所が始まりましたが、先生方が明るく、安心して子供をお任せしています。 ・子供も保育園より通所を楽しみにしております。 ・こどもプラスに出会えて良かったです。今後ともよろしく願いたします。 ありがとうございます。今後も支援内容の充実、職員の資質の向上に努めるとともに関係機関との連携を深め、発達に必要なサービス利用につながるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス柏教室

公表日 2024年12月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	7		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・運動療育を行うことができるよう安全に動ける広さを確保するようにしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて面談室を開放するようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・勤務時間の違いによりなかなか全員揃うことが難しいため、意見は広く拾い反映するようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・保護者様からの意向は真摯に受け止め、対応するようにしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年に2回自己評価を行い、職員の意見を聞き取っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・運動研修やFC研修、その他の研修にも積極的に参加できるようにしている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	・日々の支援の場面での情報を共有し、意見を受けて作成するようにしている。 ・個別支援計画についての検討会議は行われていない。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	・いつでも閲覧できるようにしている。 ・HUGにはアップされているが、そのことを共有されてはいない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具	7		・計画作成の際には、気を付けている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	・職員間で相談しながら進めるようにしている。 ・個々に委ねられている部分が多い。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・週ごとに目標を立て進めるようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・小集団での運動療育と個別での活動を組み込むようにしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・送迎や勤務時間の関係で全員揃って行うことは難しい日もあるが、その日あったことで気になることは情報共有するようにしている。 ・打合せという形式ではないが、振り返りや気付いた点は共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・対応できる体制は整えてある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・園のこどもとの交流は行っていない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・個別での対応で家族へ家庭での対応について伝えるようにしている。全体研修の機会を設けることはできていない。 ・親子イベントを定期的に企画しており、楽しみながら情報共有等につながっている。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・こどもからの聞き取りは難しいことが多いため、保護者様のご意見は反映させるようにしている。

保護者への説明等	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・面談を行い、保護者様の思いや困り感も聞き取るようにしている。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・保護者参加のイベントを企画し、交流の時間を設け、保護者同士のつながりが持てるようにしている。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・いも掘りイベント等で地元の方々との交流も図られていると感じる。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・訓練機会はもっと増やしたいと思っている。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・食物アレルギーの把握はしている。必要に応じて指示書の提出をお願いしている。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・契約時に説明を行っている。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・年に2回、研修を行っている。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		